

(4) 令和8年度 学校評価報告書 (目標設定) 定時制

| | 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|---------------------|---|---|---|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>① 社会で求められる基礎・基本的な学力や技能を定着させ、それらを活用できる能力を養うためにきめ細かな学習指導・個別支援の充実を図る。</p> <p>② 本校の育てたい生徒像の実現に向けた特色ある教育課程を編成する。</p> | <p>① 生徒の特性や学習到達度に対応した学習活動の充実を図り、生徒の主体的な学びを充実させ、ICT機器を活用した授業改善を引き続き推進する。</p> <p>② 多様な生徒に対して生徒の特性を踏まえた個別最適な学習活動を進め、活用する能力を育む。</p> | <p>① 基礎学力の定着状況を把握し、個別の支援を徹底する。ICT機器を積極的に活用し、学習内容の理解を深め、主体的な学びに繋げていく。</p> <p>② 校内授業見学や授業研修会等を通じて、「身につく」「できるようになる」授業の工夫を進める。</p> | <p>① 授業の改善・工夫にICT機器を効果的に活用することができたか。</p> <p>① 生徒による授業評価の「授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができた」の数値が3.6以上か。</p> <p>② 校内授業研修会等を引き続き実施できたか。</p> |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <p>① 基本的生活習慣を確立させ、社会生活で求められる規範意識や判断力を身につけさせ、他者と協働できる態度を育てる。</p> <p>② 生徒一人ひとりが得意分野や強みを活かせるよう、自己肯定感の高揚に繋がる支援体制の充実を図る。</p> | <p>① 生徒の生活リズムを整え、健康管理や食育等の多角的な視点に立って規則正しい生活習慣を確立するとともに、自己肯定感の向上につながる支援を充実させる。</p> <p>② 生徒一人ひとりが主体的に参加する学校行事等を、教員間の意識共有・統一を図りながら企画、立案する。</p> | <p>① 生徒支援を充実させるために、かながわサポートドックの情報・評価を積極的に活用するとともに、関係機関とも連携して、相談・指導の充実を図る。</p> <p>② 特別活動や各種学校行事等において、生徒の自発的な意見を取り入れ、自らの役割を果たせるように支援する。</p> | <p>① かながわサポートドックの評価をSC、SSWとも共有しながら、適切な生徒支援ができたか。</p> <p>② 行事ごとに生徒アンケート等を実施し、生徒が主体的に取り組みながら達成感を得られる企画とすることができたか。</p> |
| 3 | 進路指導・支援 | <p>生徒一人ひとりの進路希望の実現に向け、4年間を見通し、学年間での連携を図りながら、段階的かつ組織的な進路指導・支援体制を構築する。</p> | <p>① 3年間または4年間を見据えて「進路設計」「進学」「就職」について、理解を深め、一人ひとりに寄り添ったキャリア教育を推進する。</p> <p>② 各学年の総合的な探究の時間の中で、コミュニケーション力を伸ばし、進路実現に結びつけていく。</p> | <p>① 学年ごとに目的を明確にした進路ガイダンスを実施し、情報提供を行うとともに、計画的かつ段階的な進路指導体制を整備する。</p> <p>② 在学中の就労体験やインターンシップ、高大連携の機会等を通して進路実現の具体的なイメージをつかむ。</p> | <p>① 進路行事後のアンケート結果及びキャリアパスポート等から、生徒の充実感や進路意識の向上を図ることができたか。</p> <p>② 進路未決定の卒業生をなくす(減らす)ことができたか。</p> |
| 4 | 地域等との協働 | <p>① 地域の中の学校として、地域との関わりやつながりを取り入れた教育活動を充実させ、学校と地域の活性化を図る。</p> <p>② 学校からの情報発信を積極的に広報し、家庭や地域社会との連携や交流を深め、地域に根差した学校づくりを推進する。</p> | <p>① 引き続き地元自治会、地元関係機関と連携し、交流活動を推進する。</p> <p>② ホームページ等を通じて、生徒及び保護者の学校に対する満足度の高さを生徒の活動状況等を広報することで発信し、学校の魅力を伝えていく。</p> | <p>① 地域行事へのボランティア参加や自治会との交流を積極的に図る。</p> <p>② 学校ホームページや学校説明会、学校訪問等で中学生に対して、本校定時制の特色や生徒の活動の様子をよりアピールする工夫をする。</p> | <p>① 卒業時に実施する特色アンケートにおいて活動に対する肯定的回答が9割に達しているか。</p> <p>② 本校定時制の特色や魅力を広報する手立てについて、新たな方策を工夫できたか。</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>① 生徒への支援等の時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>② 防災意識や危機管理能力を高め、生徒の安全安心な学校生活を確保する。</p> | <p>① 校務におけるICT機器の積極的な活用や業務の見直し等により、引き続き業務の効率化や働き方改革を推進する。</p> <p>② 夜間定時制として地域の実態に則した、実践的な防災訓練やDIG訓練を実施して防災意識を高める。</p> | <p>① ICT機器の活用を工夫・改善し、業務のスリム化を進める。</p> <p>② 引き続き防災マニュアルや訓練の内容等について見直し、発展を図る。</p> | <p>① オンライン環境や業務の整理など業務の合理化を進め、働き方改革に繋がったか。</p> <p>② 生徒の在籍が夜間であることを踏まえ、生徒が避難訓練の意義を理解するとともに、職員の行動確認も含めた訓練を実施できたか。(生徒アンケートの実施)</p> |